

福島第一原子力発電所 2号機使用済燃料プールスキマサージタンク水補給操作時における使用済燃料プール一次系ポンプ停止について

< 参 考 資 料 >
2020年8月21日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

< 概要 >

- 昨日（8月20日）午後2時20分、当社当直員において、2号機使用済燃料プール（以下「SFP」）スキマサージタンク水の補給操作を実施したところ、「一次系差流量大」の警報が発生し、インターロックにより運転中のSFP一次系ポンプ（B）が停止しました。
- 直ちに現場確認等を行い、停止したポンプに異常が無いこと、漏えいが無いこと等を確認し、同日（8月20日）午後4時44分、SFP一次系ポンプ（B）を起動しました。
- SFP一次系ポンプ（B）の停止前後において、SFP水温度、敷地境界モニタリングポストや連続ダストモニタに有意な変動がないことを確認しており、外部への影響はありません。

< 原因 >

- 本来、上記操作を行う際は、免震重要棟に指揮者1名、操作者1名を配置し、かつ、現場に操作者1名を配置したうえで操作を行うところ、今回は免震重要棟および現場ともに操作者各1名の体制で操作を実施しました。
また、免震重要棟および現場において、手順書を相互確認しながら操作を行うところ今回は免震重要棟にて手順書の確認を怠りインターロックの除外操作を行わないまま、現場にてSFPスキマサージタンク水の補給操作を行ったため「一次系差流量大」のインターロックが動作し、運転中のSFP一次系ポンプ（B）が停止しました。
- 今回、不適切な操作が行われた原因について、背後要因も含め、現在調査を行っております。

< 再発防止対策 >

- 当直員の操作前ミーティング実施状況と操作時における手順書遵守・基本動作状況を運転管理部門の幹部が現場で確認する。
- 運転管理部門の幹部から、全ての当直長へ基本動作の重要性を対面で説明する。
(以上、暫定対策として本日（8月21日）から実施)
- 現在、背後要因も含めた調査を行っており、原因が判明次第、適切に再発防止対策を講じていきます。

【参考】2号機SFP循環冷却設備の系統概要

